

日本語の助動詞「た」と中国語の助詞“了”について

金 春 子*

Differences between the Japanese auxiliary verb “ta” and the Chinese post positional particle “le”

Chunzi Jin

In Japanese grammar, tense is represented by the auxiliary verb “ta”. Tense is decided depending on whether or not the auxiliary verb “ta” is present. The basic rule is that with the existence of “ta” the past tense and past movement is shown. Whereas in Chinese grammar, tense and movement exist independently. The Chinese post positional particle “le” is sometimes used and sometimes not used depending on the situation. In instances where “le” is used the positioning frequently changes.

In addition the movement of the post positional particle and the tone of the post positional particle have two characters and it could be said that the usage of “ta” is a complex one.

はじめに

日本語の助詞「た」であっても、中国語の助詞“了”であっても、その意味としてすぐ頭の中に浮かぶのは過去や完了であろう。しかし、「た」は過去と完了を表すとは限らない。“了”の使い方もいろいろで大変複雑である。

では一体「た」と“了”はどんなところが共通しているのか、またどんなところが違うのか。以下では、別々に「た」と“了”のそれぞれの使い方と意義、それにその訳文を通してそれらの共通点や相違点を見てみたいと思う。

(一) 動詞文に付く「た」・“了”

(1) 「た」は動詞の後に付き、過去や完了を表す。“了”は文中において動作の完了を表すこともできるし、文末において語気を表すこともできる。

例：①昨日お父さんから電話があつた。/昨天爸爸来了电话。

② 去年、兄と富士山に登った。/去年与哥哥一起登了富士山。

③小説はもう読みました。/小说已经读完了。

④ご飯ができました。いらっしやい。/饭好了，过来吧。

⑤みんなが席に着いたら、始めよう。/大家都就座了(的话)，就开始吧。

⑥終わったら帰ってもいいですよ。/完了(的话)可以回去了。

* 教養部

①②の「た」は動詞の後に付き、過去を表す。「了」も動詞の後に付いて動作の完了を表す。だが、「た」は文末にあるが、「了」は後に賓語（目的語）や補語がついてくる。この動作の完了を表す「了」は動態助詞である。「了」の後に賓語（目的語）や補語がついてくるのは中国語の構文の特徴である。補語が数量詞の場合、動作の量を示す。時間量詞であると、動詞の指す動作が持続的なものなら動作の持続した時間を表し、非持続的な動作が完了してからの経過時間を表す。

例：⑦我已经问了小王。/私はもう王さんに尋ねた。

⑧昨天看了电影。/昨日映画を見た。

⑨昨天我买了两本书。/昨日本を二冊買いました。

⑩我等了他一年。/私は彼を一年待ちました。

⑪他死了三年了。/彼が死んで3年になる。

③④の「た」は動詞の後に付き、完了を表す。中国語の「了」は文末にある。ふつう、「了」は文末にある場合、語気助詞として使われ、事態の変化や新しい状況の発生を表す。

例：⑫我吃饭了。/私はご飯を食べました。

⑬我结婚了。/私は結婚しました。私は結婚しています。

上の例文は「昨日ご飯を食べました」「先月結婚した」というような過去の出来事を表しているのではなく、「ご飯を食べていない状態から食べた状態に変わった」「結婚していない状態から結婚している状態に変わった」という変化を表しているのである。この変化を表す「了」はよく副詞「已经」（既に、もう）とともに使い、「已经……了」の形になる。「我已经吃饭了」（私はもうご飯を食べました）「我已经结婚了」（私はもう結婚しています）という文になる。同じような例文をいくつか挙げる。

例：⑭刮风了。/風が吹きだした（風が吹いていなかったが、今吹きだした）。

⑮他也喜欢跳舞了。/彼もダンスが好きになった。

⑯他同意我去了。/彼は私が行くことに賛成した（賛成するようになった）。

⑤⑥の「たら」は動作の完了を仮定する使い方なので、中国語に訳すと「…了（的话）」になる。これは、前の動作の完了を仮定して、後に付いてくる動作の条件として用いられる。そして、後は命令の文が多い。

例：⑰吃完了（的话）就学习吧。/食べ終わったら勉強しなさい。

⑱看完了（的话）就谈谈感想吧。/読み終わったら感想を話してください。

（2）「た」は動作の後に付き、前にした結果が今も残っていることを示す。つまり、動作の結果の存続を表す。

例：①壁にかかった絵を鑑賞する。/欣赏挂在墙上的画。

②机の上に置いた本を見なさい。/你看放在桌子上的书。

③悪くなった食べ物。/变坏(了)的食物。

④よく冷えたビール。/冰凉的啤酒(凉透了的啤酒)。

ここでの「た」は前の動作の結果の存続を表し、後に来る体言の状態を示すので、体言を修飾しているわけである。中国語では、時制と動態は別々のものなので、こういった日本語の文を中国語に訳す場合、動作の完了にしても、普通は“了”はつかないで、修飾語としての“的”で後の文に繋がる。

(3)「た」は後に述べる事態の起こる以前に、その実現が確認されたことを表す。後に述べる内容が未来のことであったときには、「た」で述べる内容は未来のことになる。

例：①明日、仕事が済んだら、みんなで旅行に行こう。/明天,如果工作结束的话,大家一起去旅行吧。

②明日、皆が集まったときに伝えよう。/明天大家到齐的时候再说。

③雨が降ったときには、運動会は中止する。/下雨天,运动会就不开了。

④午後六時に東京駅を出た電車に横浜から乗る。/从横浜乘坐下午六点钟发自东京的电车。

“了”もこれから起こる動作の完了に使われる。

例：⑤还早呢,你吃了饭再走吧。/まだ早いですよ。食事をしてから行きなさい。

⑥关了灯就什么也看不见了。/電灯を消すと何も見えなくなってしまう。

⑦他要知道了这个消息(的话),一定很高兴。/このニュースを知ったら,彼はきっと大喜びするでしょう。

三つの例文とも話す時点以降のことを言っているのだから未来のことになる。⑤は動作の順序を表す。“吃了饭再走”前の動作が終わってから後の動作が継続する。⑥の“关了灯”は“什么也看不见”の条件、前提になるものである。「電気を消す」という動作をしたら「何も見えなくなる」という結果になるから、完了の仮定を表す文になる。だから、よく結果を表す語“就”とともに使う。⑦の“要…(的话)”は「もしも…ならば」の意味に当たるものなので、“了”はやはり完了の仮定を表すものになる。

なお、“了”は“将要”(文語)や“快(要)”“就(要)”などの副詞といっしょに用い、“将要…了”“快(要)…了”“就(要)…了”という形で、ある動作や状態が、まもなく始まろうとすることを表すことができる。

例：⑧快(要)放假了。/もうじき休暇になります。

⑨就要下雨了。/雨が降ってきそうです。

⑩你该回家了。/君はもう家に帰らなくては。

⑪(该)吃饭了! /ご飯ですよ。

この場合の“了”は文末について、語気助詞として使われている。もうじき休暇とか、まもなく雨とか新しい状況の出現を表すのである。だから、⑤～⑦の“了”は動態助詞であるが、⑧～⑪の“了”は語気助詞である。

(4) 軽い命令を表す。

例：①さあ、どいた。了。/哎，借光了。

②早く、部屋を片付けた。了。/快点收拾房间了。

③もう、帰った、帰った。了。/快点回去了。

「た」を相手の動作の後に付けて、動作の実現を促す。中国語に訳せば、“了”があってもなくてもいい。ただし、あったほうが命令の態度が軽くなり、言葉のニュアンスが柔らくなる。だから、これは口語にしか使わない。また、“了”の後に目的語をつけることもできるし（例④⑤）、“把”と共に使う場合もある（例⑥⑦）。それに、“別…了”という形で禁止を示すこともできる（例⑧⑨⑩）。

例：④你饶了他吧。/彼を許してやりなさい。

⑤你不爱听可以关了收音机。/聞きたくないなら、ラジオを切ってよろしい。

⑥你把它仍了。/それを捨てしまいなさい。

⑦你把那件事忘了吧。/そのことを忘れてください。

⑧别去了。/行かないで。

⑨别说了。/もう言わないで。

⑩别看了。/見ないでください。

「た」の動詞文においての使い方はほとんど以上であるが、“了”は更に複雑な使い方がある。

i 連動式・謙語式の文の動詞に付く“了”

“了”は動作の完了を表すものであるが、完了の意を表す動詞の後すべてに“了”を用いるわけではない。話し手が動作の完了に重点を置いて表現しようとする時、はじめて“了”を用いるのである（例①②）。第一動作の完了後に第二動作が発生したことを強調する時には、第一動詞の後にも“了”が必要である（例③④）。連動式文で前の動作の完了を待ってはじめて後の動作に入ることを強調する時、謙語式の文で前の動作の完了を強調する時は、「了」は前の動詞に付けることができる（例⑤⑥）。

例：①我去图书馆借了两本书。/私は図書館へ行って本を二冊借りた。

②昨天请赵老师给大家辅导了一次。/昨日、趙先生にお願いして、皆に補習をしてもらった。

③他听了非常生气。/彼はそれを聞いて大変怒った。

④爸爸想了一下说：“你先别走！”/お父さんはちょっと考えてから「とりあえず行くな」と言った。

⑤我们也找了一个旅馆住了一夜。/我々も旅館をさがして一晩泊まった。

⑥前天请了一位老工人来作了一个报告。/—昨日、一人の経験をつんだ労働者を招いて話してもらった。

ii 動態助詞の‘了’+語気助詞の‘了’

‘了’は動態助詞としてまた語気助詞として一つの文に用いることができる。動作が今の時点

ですすでに完了しており、新しい状況が出現していることを表す。

例：①他当了科长了。/彼は科長になった。

“他当了科长”では言いきりにならず、まだ話しが続く感じになる。“他当了科长，现在很忙”（彼は科長になったものだから、今はとても忙しい）などといって、はじめて文が終わった感じになる。語気助詞の“了”を付けると、それで文が終わる。なお、“他又当了科长”“他已经当了科长”“他去年就当科长”など、副詞性修飾語がついている場合は語気助詞の“了”を付けなくても、質問に答えるときなど、場合によって、言いきりになる。しかし、いま科長をしているなら、一般的叙述としては語気助詞の“了”を付けるのが普通である。

例：②她两个女儿都进了大学了。/彼女の娘は二人とも大学に入っている。

③我在这儿住了五年了。/私はここに5年住んでいる。

“我在这儿住了五年”は、私はここにかつて5年住んだ、ということであるが、文末に語気助詞の“了”を付けると、現時点で5年になるということを表す。

例：④病了好些日子了，（老不见好）。/彼は病気になってかなりの日数になるが、（いっこうによくならない。）

Ⅲ文末の“了”の前が動詞である場合、“了”は語気助詞であることもあるし、動態助詞と語気助詞の融合体であることもある。

例：①他笑了。/彼は笑った。

“他笑了”が、笑っていなかったのが、いま笑い出したことを指して言ったのであれば、“了”は語気助詞であるし、いまさっき笑ったことを指して言ったのであれば、“了”は動態助詞と語気助詞となるわけで、実際には二つの“了”を融合して“他笑了”というから、この“了”は“了動態助詞+語気助詞”とすることができる。

例：②他走了。/彼は出かけました。

彼は出かけてしまって、ここにはもうおらず、“走”の動作は完了してしまっている。この“了”は“了動態助詞+語気助詞”である。しかし、

③那，我走了，再见！/では、私は失礼します、さようなら。

ここから出かけるのであって、“走”の動作は完了していない。この場合の“了”は語気助詞である。

したがって、a. 語気助詞の“了”は、新しい状況の出現（事態の変化）を表す、動作の完了を表さない（未完了あるいは完了・未完了を問題としない）。これから新しい状況が出現することを表す。b. “了動態助詞+語気助詞”は動作がいまの時点ですすでに完了し、新しい状況が出現してしまっていることを表す。

（二）形容詞・形容動詞+「た」、形容詞+“了”

例：① 昨日の映画、面白かったです。/昨天的电影很有意思。

② あの時、若かったです。/那时真年轻。

③ 教室の中はしんと静かだったんです。/教室里非常安静。

日本語はふつう形容詞や形容動詞で状態を表す。形容詞、形容動詞は用言の一種であるから、後に「た」を付けることによって過去の状態を表すことができる。一方、中国語では、形容詞（中国語には形容動詞という品詞はない）は過去形がない。上の例文のように、日本語の文には「た」をつけて過去を表すが、中国語の文には“了”は見えない。ただ、“昨天”“那时”という過去を表す時間名詞で過去のことを示す。しかし、状態の変化或いは変化の結果を表すには“了”は必要である。

例：④很快，水就凉了。/まもなく水が冷たくなった。

⑤天气已经很冷了。/天気はもうたいへん寒くなっているけど、彼は薄着しています。

⑥她脸都白了。/彼女は顔色が真っ白になった。

④は“水+凉+了”という構成から“水”はもともと冷たくない、もともと冷たくない“水”が“了”によって冷たい水になったということが分かる。この場合はよく“已经”（すでに）などの副詞と共に使われる。また将来に起こる状態にも使われる（例 ii b ③④）。

i 形容詞の後につき、その後に数量詞あるいは“很多”“好多”“不少”などが補語として続いている場合は、すでに新しい状況として実現していることを表す。

例：①这双鞋大了一号。/この靴は1サイズ大きい。

②这件衣服短了一点儿。/この服はちょっと丈が短い。

③稍微快了一点儿。/ちょっと速い。

④头发白了许多。/髪がだいぶ白くなった。

⑤他比先前瘦了好多。/彼は以前よりぐっとやせた。

上例における“了”は省くことができることがある。例えば“这件衣服比那件短一点儿”（この服はあの服よりちょっと短い）。“他讲得稍微快一点儿”（彼はちょっと早口である）。しかし、“了”を用いなければ、実現していないことについていうこともでき、実現していることについていうこともできるが、“了”を付けると、実現していることにしか用いられない。次の文の形容詞には“了”をつけることができない。“短一寸就合适了”（1‘寸’短くするとぴったりだ）。“请讲得慢一点儿”（少しゆっくりお話してください）。

ii 文末の“了”の前が形容詞である場合、動詞の場合と同じく語気助詞の“了”であることもあるし、“了動態助詞+語気助詞”であることもある。“了動態助詞+語気助詞”は、変化の完了を表している語気助詞の“了”に対して当面の状況にのみ着目して、変化については問題としていないという違いが認められる。

a. “了動態助詞+語気助詞”

例：①头发也白了，皱纹也多了。/髪も白くなり、しわも増えた。

②桃儿已经熟了。/桃はもう熟した。

b. 語気助詞の“了”

例：③天就亮了。/もうじき夜が明ける。

④他的病快好了。/病気はじきよくなります。

⑤这个办法最好了。/このやり方がいちばんいい。

⑥他太认真了。/彼はたいへんまじめである。

⑦地方可大了。/ずいぶん広い場所ですね。

語気助詞の“了”はまたよく副詞の“最”“太”“可”などと呼応して用いる。

(三) 判断助動詞+「た」

例：①大昔、ここは海だった。/很久以前，这里（曾经）是大海。

②小学生だったとき、戦争が始まった。/在我还是小学生的时候(在我还上小学的时候)，战争爆发了。

③二年前、私はまだ医者ではなかった。/两年前，我还不是医生。

上の例文の「た」は判断を表す助動詞「だ」「ではない」の後につき、判断の肯定や否定の過去を示す。中国語は“是”で判断を表す。否定は“不是”である。時制と動態が別物なので、過去を表すとしても必ず“了”といっしょに使うとは限らない。過去時制は、過去の時間を示す語・句で示される。①は“很久以前”と“曾经”②は“还是小学生的时候(还上小学的时候)”③は“二年前”という言葉で過去のことを表している。だから、判断を表す文として“是……了”“不是……了”という文型は存在しない。しかし、状態の変化を表すなら、“是……了”“不是……了”が使える。

例：④你已经是大孩子了，该懂事了。/あなたはもう大きくなったから、物が分かるはずですよ。

⑤你已经不是小孩子了，该由自己打扫卫生了。/もう子供でないから、掃除ぐらいは自分でやりなさい。

こういう場合“了”は文末に置かれ、変化や新しい事態の発生を表すので、語気助詞と思われる。④は“你”が“是大孩子”の状態に変化し、⑤は“你”が“不是小孩子”の状態に変化したという意味を表している。このいう場合、“是”“不是”の前に、“都”“已经”（もう、すでに）など変化を表す副詞がよく共に使われる。同じ意味の使い方をいくつか例を挙げる。

例：⑥已经是春天了，还这么冷。/もう春なのに、まだこれほど寒い。

⑦都是大学生了，将来一定有出息。/もう大学生なので、将来きっと見こみがありますね。

(四) “了”に関係する否定

日本語は「ない」で否定を表す。「ない」は助動詞なので、後に「た」をつけて「なかった」という形になる。しかし、中国語は“没”や“不”によって否定を表す。普通は過去のことを否定する

には“没”を使い、将来のことを否定するには“不”を使う。また禁止を表す場合には“別”を使う。ところが、これらの言葉が“了”と共に使える場合もあるし、共に使えない場合もある。

(1) 動態助詞“了”の否定には、動詞の前に“没”を付ける。

例：①采取了措施。——没采取措施。/措置を取った。——措置を取らなかった。

②我喝了点儿酒。——我没喝酒。/私は酒を少し飲んだ。——私は酒を飲まなかった。

“没”を用いた否定文の中の動詞の後に“了”を付けることはない。ただし、“掉”(…てしまう)の用法に近似している動態助詞“了”はそのままにしておいてよい。“幸亏没仍了它”(幸い捨てないでおいたので、(今日また役に立った))。“还好没忘了她的生日”(彼女の誕生日を忘れなくてよかった)。ところが、“讲清楚了”“做完了”などの否定は“没讲清楚”“没做完”となるわけであるが、仮定条件の節では“不”で否定される。事実そのものの否定ではなく、仮定上の否定であって、“如果不…”にあたる。なおこの場合の動態助詞“了”はなくてもよい。“事情不讲清楚(了)不行”(ことははっきり言わなくてはならない)。“功课不做完(了)，心里不踏实”(勉強をやってしまわないと、落ち着かない)。

(2) 語気助詞の“了”の否定は二つに分かれる。すでに新しい状況が出現することを表す語気助詞の“了”の否定には“没…(呢)”を用い(例①②)、これから新しい状況が出現することを表す語気助詞の“了”の否定には“不…(呢)”を用いる(例③④)。

例：①休息了。——还没休息呢。/休憩に入った。——まだ休憩していない。

②老了。——还没老。/老けた。——老けていない。

③他快去上海了。——他还不去上海呢。/彼はもうじき上海に行きます。——彼はまだ上海に行きません。

④看样子就要下雨了。——看样子还不会下雨。/このようすでは雨になりそうだ。——このようではまだ雨になるまい。

しかし、“没…了”“不…了”という形で否定を表す場合も有る。例えば、“我们八年没见了”(私達は8年会っていない)。“我很久没接到他的来信了”(彼からずいぶん長い間手紙をもらっていない)。ここで“八年”と“很久”という時間を表す語が付いている。もしも、この時間を表す語が付いていないと、“我们没见”“我没接到他的来信”になる。また、“我不上学了”(私は学校へ行かないことにした、行かないことになった)。“他不来了”(彼は来ないことにした、来ないことになった)という言い方も有る。“我不上学了”は自分の意志で学校へ行かないと決めた可能性もあるし、何かの原因で学校へ行けなくなった可能性も有る。とにかく、結果として行かないことになった。これはもう事実になっている。なお、これからの行動を否定するので“不…了”という形になったのである。これも中国語の構文の複雑さの現れの一つである。

(3) “别…了”という形で、相手を止めさせようとすることを表す。

例：①別哭了！ / もう泣かないで。

②你喝了不少了，别喝了！ / 君はかなり飲んだから、もう飲むのはよしなさい。

③太晚了，你别走了！ / もう遅いから、行かないでください。

④今天有雨，别忘了带雨伞！ / 今日雨だから、傘を忘れるなよ。

⑤这是给弟弟的，你别吃了！ / これは弟にあげるものだから、君は食べてはいけません。

おわりに

日本語文法では、時制と動態は、関連的に用いられている。助動詞「た」の有無によってテンスが示される。基本的には、「た」があれば発話時点、基準となる時点より前の事柄（過去）であることをあらわす。しかし、中国語文法では、時制と動態は別物であって、独立的に用いられる。たとえば、時制が過去（の完成された動作）であっても、必ずしも、過去（の完了態）をとるわけではない。動詞の語形は、時制によって変化するのではなく、動態（動作がどのような状態にあるか）によって変化するのである。時制の変化は、通常、時間詞——時（間）を表す語・句（状況語）で表す。したがって、過去時制は、過去の時間を示す語・句で表され、未来時制は、未来の時間を示す語・句で表される。この場合に、動詞が変化しないのが中国語の特徴である。だから、「了」は場合によって用いる場合もあれば用いない場合もある。用いるとしても位置がよく変化する。また、動態助詞と語気助詞と二つの性質を持っているので、「た」に対して使い方がかなり複雑なのである。しかし、動態助詞であろうと語気助詞であろうと外国人にとってその意味と使い方を分かりさえすれば十分だと思う。

注：了は動態助詞で、了は語気助詞、了は動態助詞でもあり同時に語気助詞でもあることを表す。

参考文献

日本国語大辞典第二版編修委員会	2002	日本国語大辞典	小学館
山口明穂 秋本英	2001	日本語文法大辞典	明治書院
加藤重広	2001	日本語学のしくみ	研究社
小池清治	1994	日本語はどんな言語か	ちくま新書
岩淵 匡	2000	日本語文法	白帝社
大東文化大学中国語大辞典編纂室	1995	中国語大辞典	角川書店
香坂順一	1972	現代中国語辞典	光生館
香坂順一	1973	現代中国語文法	光生館
馬真・郭春貴	2001	中国語文法	白帝社
三野昭一	1983	中国語文法の基礎	三修社

（平成14年11月29日受理）